

平成三十年度

支部総会・大懇親会・新会員歓迎会

副支部長 山内 淳 禎

五月十二日(土)の十五時三十分より、ホテル法華クラブ函館において、平成三十年度の夕陽会渡島支部の総会が開催されました。

総会は、福井支部長の挨拶に始まり、ご来賓としてご臨席賜りました夕陽会副会長

長天野哲征様より、百周年を迎える夕陽会や母校の現状、卒業生の動向等についてご祝辞をいただきました。

その後、報告事項、協議事項の説明があり、全ての次項について承認されました。あわせて百周年記念事業への参加依頼がありました。

また、役員改選では、幕田真二新支部長(木古内小)を始め、十一名の新役員が決まり、総会を終了しました。

大懇親会・新会員歓迎会で



は、夕陽賛歌の斉唱、新役員紹介、幕田新支部長の主催者挨拶に続き、北海道教育庁渡島教育局局長五十嵐晋様と渡島教育委員会教育長会長與田敏樹様よりご祝辞を賜り、夕陽会副会長天野哲征様の祝杯のご発声により祝宴に入りました。

出席した十二名の新会員の自己紹介。毎年恒例の大抽選会。応援・エール。寮歌の大合唱と会が進みました。特に、応援・エールでは新団員を迎え、大いに盛り上がりました。

終わりに、福島町教育委員会教育長前田勝広様の乾杯のご発声により、会員の絆の強さを改めて確認し合い、お開きとなりました。

何かとご多用の中、ご出席くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

◎ 母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である親睦の和を深めるとともに教育の振興に寄与する。

● 運営方針 ●

一、支部・支会の連携強化

- ・ 会員の同窓意識を盛り上げる。
- ・ 会員相互の助け合いを大切に
- ・ 支部と支会、支会相互のつながりを密にする。
- ・ 情報活動を活発化する。
- ・ 支会と連携しながら、同窓の輪を民間へと広げる。

二、会員の向上・援助

- ・ 会員相互の研修活動を促進する。
- ・ 人材の発掘と登用を積極的に進める。
- ・ 新会員(新採用者・渡島管内勤務初経験者)への援助・啓発に努める。
- ・ 退職会員への感謝と激励に努める。

三、本部及び他支部との連携

- ・ 本部との連携を深めて、会の一層の充実・発展を図る。
- ・ 本部事業への積極的な協力を図る。(百周年記念事業準備への協力)
- ・ 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
- ・ 本部からの支援を積極的に求める。

● 事業推進方針 ●

一、支会訪問と支援

- ・ 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。
- ・ 情報・資料の提供
- ・ 管内及び他支部との情報交換に努める。
- ・ 本部との情報交換を積極的に進める。

三、「夕陽渡島」の発行

- ・ 親しまれ読みやすい「夕陽渡島」の発行に努める。(年三回発行)

四、研修事業の活発化

- ・ 新会員激励会を開催し、教職への意欲づけを図る。
- ・ 会員研修の促進と研究実践者の積極的推進を図る。

五、退職会員との連携

- ・ 勇退者への「感謝と激励の会」を開催する。
- ・ 夕陽会渡島支部「終身会員」への勧誘を促進する。
- ・ 勇退会員の資料集「勇退者の横顔と足跡」を発行する。
- ・ 勇退会員へ記念品を贈る。

六、本部事業への積極的協力と参加

- ・ 本部主催の行事への積極的参加と協力を行う。
- ・ 本部前納会員への加入のための支援を行う。
- ・ 百周年記念事業成功に向けて協力する。

七、関係機関との連携・提供

- ・ 関係機関と連携を強化して、事業を推進する。

八、その他

- ・ 主幹教諭昇任者・教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ祝詞等を送付する。
- ・ 夕陽会新採用者が渡島管内学校に着任した場合祝詞等を送付する。
- ・ 慶弔関係への対応を迅速に行う。

支会だより

教育で選ばれる市(まち)を目指して



北斗支会会長
(萩野小学校)

西田 直

北斗市は、平成二十八年三月二十六日に開業した北海道新幹線の「新函館北斗駅」があるまちです。また、静ひつな佇まいが魅力のトラピスト修道院や国指定史跡の松前藩戸切地陣屋跡、眼下に南北海道一の絶景が広がるきじひき高原など、多くの見どころがあり、年間を通じて、多くの観光客が、本市を訪れています。

北斗市の永田裕教育長は、常日頃から、「教育で選ばれる市(まち)」を提唱しています。それを合い言葉に、市教育委員会と共に、各学校では、教育環境や教育活動の充実に努めているところとです。

特に、近年におきましては、中学校区ごとに、小中連携を促進しております。例えば、小学校四校と中学校一校がある大野地区では、「大野地区子どもを

健やかに育てる会」において、

地域連携協議会に準じた取組を推進しています。この会は、大野地区の小・中学校をはじめ、高等学校、保育園・幼稚園、町内会ブロック協議会長等の地域関係者で構成しており、各学校、保育園・幼稚園の経営方針及び学校(園)評価を公表する等の活動を通して、地域ぐるみで、学校等を支援する体制を整えています。下部組織には、連携協議会を位置付け、計画的に連携した取組も展開しています。

このような中、私事ですが、過去に、教頭として務めていたこの市(まち)に、再び戻り、保護者や地域の皆様と共に、北斗市子どもたちのために働く機会をいただいたことに、感激もひとしおです。

今後は、夕陽会北斗支会会長として、支会会員百二十七名の皆様のお力添えをいただきながら、北斗市の教育活動の充実に向け、一翼を担っていきたくと考えております。

結びになります。夕陽会創立百周年を、心より御祝い申し上げますとともに、ますますの御発展を祈念しております。

支会だより

地域の食文化を大切にす町



福島支会会長
(福島小学校)

飯田 典紀

福島町は水産業を基幹産業とする人口が四千人ほどの町です。最近のニュースによると、イカ漁が極端な不漁になり、同時にそれを餌とするマグロ漁も記録的な不漁となっているそうです。この二つの魚種を漁業の柱としてきた福島町、松前町など、渡島管内の沿岸漁業者や、それを原材料とする水産加工業者にとつては、まさに死活問題となっています。

沿岸漁業の不振が見え始めたのは、昭和五十年代後半からと言われています。その頃の福島町では、昆布などの養殖漁業の比重を高めるなど、漁業形態を徐々に変化させました。また、幅広い世代に受け入れられるように、新しい水産加工品の商品開発を進めて、水産業全体の活性化を図っていきました。最近では、高級食材であるアワビの陸上養殖事業に取り組んでいます。

「刺身はイカだべさ。アワビは焼くと旨い。」漁の不振が今後も続く、と、そうした漁師の声が聞けなくなる日があるかもしれません。しかし、食は、人間にとつて最も身近で重要な文化です。文化の活性化は、地域の活性化につながります。福島町で

は、そうした考えのもと、毎年、役場と漁業協同組合婦人部が連携し、福島小学校と吉岡小学校の高学年児童を対象に、町の特産品であるイカと黒米を使った「食育教室」を実施し、子どもたちの豊かな感性や情操の育成に努めています。

学校は、小学校二校、中学校一校、道立高校一校がありますが、漁業関係者の児童生徒は少なく、多くは会社員や自営業者、公務員関係となっています。夕陽会員は小中学校、役場の合計二十名と、渡島支部で最も小さい支会の一つになっています。また、教職員構成比率を見ると、夕陽会員が五割を切る状況になっていて、教育大学以外の出身者が多くなっていることも、近年の特徴となっています。

平成三十年度の夕陽会福島支会総会・懇親会を、七月初旬に開催する予定です。昨年度は、福島町教育委員会教育長・前田勝広様、本部副会長・天野哲征様、渡島支部副支部長・幕田真二様をご来賓としてお招きし、レストラン「たかお」を会場に、少人数ながら和やかな雰囲気の中で、地元食材を味わいながら懇親を深めることができました。今年度も本部や支部の役員の皆様をお招きし、情報の交流や会員相互の懇親を深めていきたいと考えています。

夕陽会という「絆」を生かし、会員一人一人の力が十分に発揮できるように、そしてそれが福島町の教育の充実・発展につながるよう力を尽くしてまいります。

平成30年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

支会名	支 会 長		幹 事 長	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
松 前	近 江 辰 仁	松城小学校	新 田 英 樹	松城小学校
福 島	飯 田 典 紀	福島小学校	大 山 真由美	福島小学校
知 内	小 野 俊 英	知内小学校	竹 下 正 彦	知内小学校
木古内	信 田 博 之	木古内中学校	金 澤 誠 一	木古内中学校
北 斗	西 田 直	萩野小学校	堀切川 治	萩野小学校
七 飯	朝 倉 憲 昭	軍川小学校	小 又 洋 子	軍川小学校
鹿 部	佐 藤 君 博	鹿部小学校	長谷川 美栄子	鹿部小学校
森	高 橋 吉 隆	駒ヶ岳小学校	細 川 真 喜	駒ヶ岳小学校
八 雲	中 田 裕 治	東野小学校	小 嶋 幸 一	東野小学校
長万部	長谷川 秀 雄	長万部中学校	附 田 勇 人	長万部小学校
五 稜	西 村 和 彦	渡島教育局	大 山 裕 之	渡島教育局

平成30年度

夕陽会渡島支部役員名簿

役 職	氏 名	所 属
顧 問	鈴 木 牧 男	終身会員
	高 橋 伸 夫	終身会員
	木 村 孝 一	終身会員
	福 井 伸 一	終身会員
支 部 長	竹 嶋 充	藤城小
	幕 田 真 二	木古内小
副支部長	小笠原 英 緒	大沼小
	山 内 淳 禎	野田生小
監 査	工 藤 達 也	七重小
	佐々木 理 之	七飯中
幹 事 長	白 石 眞 嗣	久根別小
副幹事長	渡 邊 聡	森 小
会計幹事	長谷川 美栄子	鹿部小
庶務幹事	雨 澤 啓 司	浜分中
	佐 藤 健	石別小
	堀切川 治	萩野小
広報幹事	中 野 聡	大中山小
	吉 田 圭	島川小

▶夕陽会渡島支部事務局◀
〒049-0122 北斗市東浜1丁目11-1
北斗市立久根別小学校内
白 石 眞 嗣
電 話 0138-73-7530
F A X 0138-73-0293

会 務 中 間 報 告

【平成29年度】

4月4日(水) 校長採用・教頭・主幹教諭昇任者へ祝詞を発送する
12日(木) 各支会現況調査依頼を発送する
13日(金) 総会案内・大懇親会案内を発送する
5月2日(水) 第3回支部役員会議案内を発送する
第3回支部役員会議を開催する
(大中山中学校)

【平成30年度】

5月12日(土) 平成30年度支部総会・大懇親会(新会員歓迎会)を開催する
(ホテル法華クラブ函館 参加者98名)
14日(月) 夕陽会創立100周年記念事業案内を発送する
16日(水) 支部大懇親会(新会員歓迎会)の礼状を発送する
18日(金) 八雲支会総会・懇親会に出席する
(白石幹事長)
25日(金) 平成30年度第3回本部役員会に出席する
(幕田支部長・白石幹事長)
31日(木) 夕陽会創立100周年記念行事資料等を各支会にメールする
(食堂メニューなど2日目の関係資料)
6月8日(金) 夕陽会創立100周年式典・祝賀会部打ち合わせに出席する
(白石幹事長)

7月2日(月) 第1回支部役員会議を開催する
(久根別小学校)
6日(金) 七飯支会総会・懇親会に出席する
(幕田支部長)
10日(火) 北斗支会総会・懇親会に出席する
(幕田支部長)
12日(木) 森支会総会・懇親会に出席する
(小笠原副支部長)
13日(金) 第1回支会長幹事長会議を開催する
(大中山コモン)
19日(木) 夕陽渡島NO.135を発行する
(佐々木監査)

24日(日) 夕陽会創立100周年記念講演会
(北海道教育大学函館校)
29日(金) 鹿部支会総会・懇親会に出席する
(山内副会長)
23日(土) 夕陽会創立100周年記念式典・祝賀会
(ホテル函館ロイヤル)